



## 東播第2グループ I.M.



日時：令和6年2月10日（土）  
場所：加古川プラザホテル  
ホスト：加古川平成 RC



## 例会記録 2024.2.10 (土) 通算 2091 回

出席報告 1月27日 会員数39名 欠席者 7名 出席率 78.79% (修正による)  
(この内出席免除者 16名)  
2月10日 会員数39名 欠席者 13名 実出席者数 17名  
(この内出席免除者 16名) 出席率 56.67%

来訪ロータリアン 高砂ロータリークラブ 脇谷 政孝様  
(2月7日分)

## 幹事報告

Secretary

幹事報告 第23回 (通算 2084回)

1. 地区より  
平和構築と紛争予防月間 リソースが届いております。
2. 兵庫県陶芸美術館より  
特別展の案内が届いております。
3. 加古川平成 RC、姫路 RC より  
例会変更のお知らせが届いております。  
回覧いたしますので確認をお願いします。

## 会員卓話 入江 啓太会員



入江 啓太会員

入江 啓太会員より、  
お話いただきました。

令和6年1月31日(水)

## 例会記録 2024.1.31 (水) 通算 2090 回

ソング 「我等の生業」「四つのテスト」  
出席報告 1月17日 会員数39名 欠席者 6名 出席率 81.25% (修正による)  
(この内出席免除者 9名)  
1月31日 会員数39名 欠席者 6名 実出席者数 29名  
(この内出席免除者 12名) 出席率 82.85%

来訪ロータリアン 高砂ロータリークラブ 新井 哲三様



## 幹事報告

Secretary

幹事報告 第22回 (通算 2083回)

1. 地区より  
(1)第44回 RYLAセミナー案内  
(2)国際ロータリー年次大会参加旅行募集案内  
(案内パンフレットが必要な方はお持ち帰りください)  
(3)2024/3/2～3/3に開催される、地区大会の締め切りが、2/13まで延長しております。  
登録をまだされていない方、参加よろしくお祈いします。
2. 加古川中央 RC より  
IM 講演会の小中学生参加の呼びかけのお願いが届いております。  
(チラシを置いておきますので、必要な方は持ち帰りください)

回覧いたしますので確認をお願いします。

(幹事より)

次の例会は、2/10土、加古川プラザホテルにて IM となっております。

その次の例会は、2/14水、地区環境の保護委員会 城守委員長 (ガバナーノミニー) に来て  
いただいたの卓話となっております、多数の参加お願いいたします。



## ニコニコ報告

Donation

### 櫻井 宣孝

入江会員卓話楽しみにしております。  
本日、1月最終日です。  
早いですね、2月も頑張ってください。

### 入江 啓太

本日卓話させていただきます。  
子守歌にならないように気をつけます。

### 小西 文孝

先般の家族 (新年) 例会お世話になりました。  
戦争の頃の話になると悲しくなります。  
人災です!! コロナも人災です。  
争いから平和は生まれません。  
高砂ロータリークラブ  
新井 哲三様  
メーカーキャップさせていただきます。

村上 則宏・矢野 聡・京谷 慎平  
都倉 隆宏・吉川 弘・原 久美  
松下 和雄・田中 浩行・青柳 淳  
内海 薫・庄司 武・廣瀬 明正  
田中 伸明・佐野 栄作・大村 裕史  
伊藤 勝之・菱田 好美・森本 匡裕  
大橋 卓司・井野 隆弘

入江さん、卓話宜しくお願いします。



## 委員会報告 or その他連絡事項

et cetera

ロータリー財団  
ポールハリスフェロー認証状・認証襟ピン

◇吉川 弘 会員

ロータリー財団  
マルチプルポールハリスフェロー認証襟ピン

◇田中 浩行 会員

◇大橋 卓司 会員



皆様、こんにちは。

本日の私の時間は、日本の人口減少について、2050年にはどうなるか最新データからわかることをご紹介しますと思います。

2050年には、東京を除く全ての道府県で人口が今より減少し、この内、2割の道府県では30%以上減るとい推計を国の研究所がまとめました。2050年には、日本の人口は約1億人、現在の人口は、約1億2400万人、2050年までの人口の減少率が最も大きいのは、



1. 秋田で約42%
2. 青森で約39%
3. 岩手と高知で約35%などとなっています。

ちなみに、兵庫県は約546万から436万に20%減少の見込みとなります。そして、65才以上が35%～40%となります。今後、日本全体は2082年に人口は半減し、約6400万人になると予想され、そのまま何の対策もせず人口減少が続けば計算上では、3300年頃、日本の人口はやがて0となると考えられています。過去を振り返りますと、鎌倉幕府が成立した1192年、830年前の日本の人口は757万人と推計されており、室町幕府成立の1338年で818万人、江戸幕府成立の1603年は1227万人、そこからとんで、1868年明治維新になっても3330万人、ところが、2回の世界大戦を経験して「産めよ殖やせよ」の国策（子供を5人以上産む）により、終戦の1945年には7199万人、2008年にはピークの1億2808万人で、これがピークとなり、本格的な高齢化社会を迎え、年間生まれる人間の数より死んでいく人間の数が多くなる局面となりました。この減少を反転させる為には、やはり「産めよ殖やせよ」が異常過ぎる人口の上昇カーブを生み出した結果であり、今それが修正される局面とされています。

ある意見では、現在の日本の人口はヨーロッパの主要国並みの6000万～8000万が適正と考える方もいるようです。人口が減少しても生産性や付加価値を上げていくことを日本は真剣に舵を切るべきだと考えられています。ニーサや投資とばかりでなく「生産性向上」が国策ではないでしょうか。しかしながら、社会保障制度は人口増を前提に設計されているので、人口減では制度が崩壊するので平和にどっぷりつかっているとされる日本人のありとあらゆる危機意識を真剣に考え、実行する時期が来ているのではないかと考えます。以上です。

◆ プログラム予定 ◆

2月21日(水)	休会【定款第7条第1節(d)による】
2月28日(水)	会員卓話 村上 則宏委員長【プログラム委員会担当】
3月6日(水)	高砂RCとの合同例会(ホスト高砂青松RC)
3月13日(水)	【クラブ会報・広報記録委員会担当】

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長	櫻井 宣孝	幹事	三枝 丈次	クラブ会報・広報・記録委員長	森本 匡裕
例会日時	毎週水曜日 12:30		例会場	高砂商工会議所会議室(2F)	
事務局	高砂商工会議所内		〒676-0064	高砂市高砂町北本町1104	電話(079)443-0500